【北海道置戸町】

校務DX計画

1人1台端末導入後、学習支援及び授業支援ソフトウェア等を活用し、教育のデジタル化を進めてきた。

今後、教職員の業務負担を抑え、校務DXを推進するために「GIGAスクール構想の下での校務の情報化に関する専門家会議」の提言を踏まえ、次の取組を行う。

(1) クラウドツールの活用

各学校で様々なクラウドツールを活用し校務DXを積極的に進めているところであり、今後も有用なクラウドツールがある場合には、より一層学校の働き方改革推進のためにも、導入に向けて検討を行う。

保護者と学校間の連絡体制については、現状もクラウドツールを活用しており、今後も積極的に推進する。

(2) FAX・押印の見直し

FAXと押印の見直しは、ペーパーレス化を促進させるとともに学校の働き方改革推進のために必要であることから、災害やネットワークの不具合時などFAXの方が電子メール等より効率的な場合を除き、原則廃止に向けた取組を推進する。

また、FAXでの送付や押印を求めている事業者や関係団体等にも見直しについて協力を求める。

(3) 次世代校務支援システムの導入に向けた検討

次世代校務支援システムへの移行については、必要な情報を集めるとともに、導入に向けて検討を行う。